

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 2 ムダ・ムリ・ムラをなくし、みんなが元気な市役所に ～行政経営の推進～
 重点的取組 2 効率的、効果的な行政組織をつくる

担当課名		分権政策部 経営政策課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	公共施設マネジメント事業	事業開始年度	平成 21 年度
	公共施設のマネジメント	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市公共施設マネジメント基本方針（H25.6）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	公共サービスを必要としている市民	公共施設管理システムや公共施設白書等で公共施設の管理運営情報を共有化し、公共サービスや公共施設の基本的な考え方を示した「公共施設マネジメント基本方針」と各公共施設の更新等のあり方（方向性）を示した計画に基づき、人口構造と財政状況の変化や新たなニーズに対応した持続可能な公共サービスを提供する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	<ul style="list-style-type: none"> 各部署 委託業者 市民 	公共施設管理システムが職員にとって使いやすくなるよう各部署及び委託業者と連携する。公共施設のあり方について、市民アンケート等により考え、公共施設マネジメントについての意識醸成を図る。

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	各部署で情報を共有化するため、平成22～24年度にかけて構築した統合型GISシステム（「公共施設管理システム」など）のサーバー保守とシステムのメンテナンスを行った。 また、公共施設マネジメントに関する職員研修を実施し、公共施設のあり方に対する意識を高めた。 「廿日市市公共施設マネジメント基本方針」を策定するとともに、市民の公共施設に対するニーズと考え方を把握するため、市民意識調査を実施し、公共施設の更新等のあり方（方向性）を示した計画の策定に着手した。			
	◎ 統合型GISシステム保守	共有された地図データ上に各種業務情報を掲載し、関係部所管での情報共有を図るための統合型GISシステムのサーバー保守及びシステムの保守を業務委託により実施した。		
	◎ 市民意識調査	公共施設の更新等のあり方（方向性）を示した計画の策定にあたり、広報紙を活用して市民へのアンケート調査を行った。		
	◎ 公共施設マネジメント職員研修	公共施設の更新問題やあり方に対する職員の意識を高めるため、研修を行った。		
	【歳出】			
	公共施設マネジメント職員講師謝礼	13,500 円	職員研修旅費	257,700 円
	公共施設マネジメント職員研修講師旅費	36,620 円	職員研修消耗品	1,500 円
	統合型GISシステム消耗品	29,104 円	市民意識調査集計業務委託料	342,300 円
	統合型GISシステム保守委託料	3,570,000 円	市民意識調査郵便料	52,915 円

コスト情報（円）	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
	財源内訳	直接事業費 A	2,135,630	4,303,639		
		国庫支出金				
		県支出金				
		借入金（市債）				
		その他(使用料など)				
		市（市税など）	2,135,630	4,303,639		
		人件費(按分) B	0.50 人 4,386,000	1.00 人 8,486,000		
		総事業費(A+B)	6,521,630	12,789,639		
	ト換算	①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人	
②		市民1人当たり	55	109		

到達目標	活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
	活動	公共施設地区別将来予測システム	—	構築	—	—	
		公共施設マネジメント基本方針	—	策定中	—	策定	—
	成果	公共施設の用途変更や再配置	施設数	—	策定	策定中	未定
	施設運営の見直しが行われた件数	件数	—	—	—	未定	